



ペットの高齢化が進むに連れて「がん」をはじめとしたさまざまな生活習慣病になってしまいう子が増えてきています。がん治療においては抗がん剤や放射線治療などの研究は少しずつ進んでいますが、特効薬の開発にはまだ時間がかかりそうです。また生活習慣病の治療薬は症状を抑える対処療法に過ぎません。

しかし毎日の食事の見直しをすることで、病気の改善や予防が期待できます。一般的なペットフードには「糖質」が多く含まれています。この「糖質」を制限することで、病気の予防や改善ができるのです。

特に「がん」が成長するときには糖質が必要なので、がんを発症している子は糖質からのカロリー

が総カロリーの10%以下になるように頑張っていたきたいと思います。がんを発症していない子であれば、総カロリーの20%以下程度でもよろしいと思います。

ただし糖尿病を患っているのであればがんの子と同様 10%以下をお勧めします。糖質制限を行うことで病状改善が期待できます。

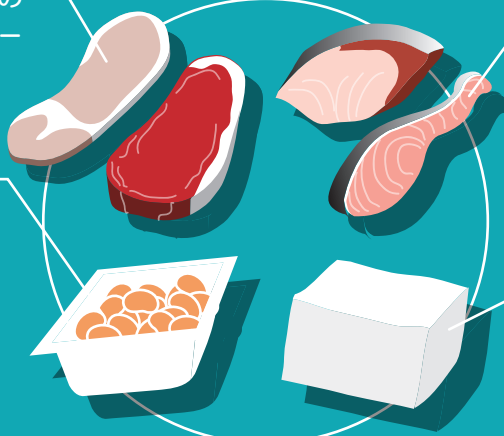
手作りとなると「難しい」「大変」と感じてしまうかとおもいますが、肩肘張らず、楽しく長く続けることを目指しましょう。

ペットも私たちと一緒に。日々の食事では作られていきます。良質の食事は穏やかな薬。まずは、身近なところから病気の予防・改善に取り組んでみませんか。

肉

どの肉も脂身の少ない部位、赤身の部位を選び、何種類かのお肉をローテーションするのがお勧めです。

①タンパク質



魚

EPA や DHA が抗腫瘍作用、抗炎症作用をもたらします。特に青魚の刺し身や水煮缶を利用すると良いでしょう。サーモンもお勧めです。

納豆

植物性タンパク質です。発酵食品なので腸内環境改善に役立ち、デトックスと免疫力を強化します。また腸内細菌の栄養になるオリゴ糖も摂取できます。より消化の良いひきわり納豆をお勧めします。

豆腐

植物性タンパク質です。水分を多く含むので毒素排出を促す他、かさましとして利用できます。



②野菜・きのこ類

葉物野菜は全般的に糖質が少なくお勧めです。付着している農薬をしっかりと洗い流し、少しでも体内に有害な物質が入らないよう心がけましょう。

きのこ類は食用のものであれば問題ありません。わんちゃん、ねこちゃんは食物繊維の分解が苦手です。細かく刻んで与えてあげましょう。※イモ類は糖質が多いため使用は控えたほうが良いでしょう。また、人参などの甘みの強い野菜も少量にとどめておくことをお勧めします。

③亜麻仁油 (フラックスシードオイル) しそ油、えごま油



αリノレン酸が主成分の油です。αリノレン酸は体内で EPA、DHA に変換されます。加熱すると酸化してしまうため、出来上がったお食事にふりかけてあげると良いでしょう。

※アレルギーのある食材はお控えください。この食事の提案はすべての犬猫に効果を保証するものではありません。

Q&A



質問 食事を変えたら体重が減りました。

回答 しっかり食べているのに体重が減った場合は心配はいりません。糖質を減らしてタンパク質を増やした食事は体脂肪を落として引き締まった体を作ります。

質問 鯖缶の塩分は大丈夫ですか？

回答 心配いりません。鯖の水煮缶の塩分濃度は 1%弱で点滴に使う生理食塩液と同じ濃度です。腎不全や尿路疾患の子は水分を加えてください。

質問 市販フードばかり食べます。

回答 味付けの工夫で解決するかもしれません。手作り食では味付けを忘れがちです。塩、味噌、コンソメ、かつお節などで薄めに味付けしてみましょう。化学調味料は控えましょう。また食材は温めると香りや旨味が強まって美味しくなります。

質問 米やパンを与えても良い？

回答 糖質量が多いため日常的に与えることはお勧めしません。

質問 甘みの欲しがり方が以上です。

回答 糖質中毒になっているかもしれません。糖質には依存性があるためストレスにならないようにゆくりと糖質量を減らしてみてください。

質問 脳が栄養不足にならない？

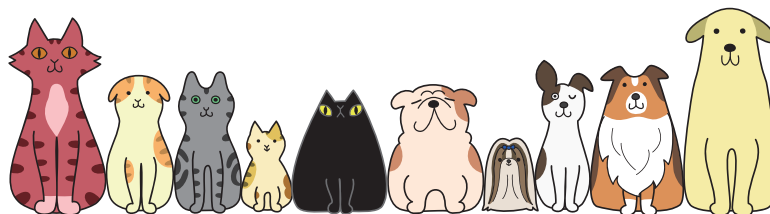
回答 大丈夫です。脳に必要なエネルギーは体脂肪などから安定供給されます。

質問 腎不全で食事制限中です。

回答 重度の腎不全の場合、この食事法はお勧めできません。

質問 この食事のデメリットは？

回答 一番のデメリットは手間がかかることです。確かに市販のフードは手軽ですが、インスタント食品やハンバーガーだけを食べる人はいないですよね？ペットも同じです。無理のない範囲で手作り食の割合を増やしていきましょう。



【編集監修】

株式会社モノリス動物医療事業部 獣医師 林

埼玉県新座市東北1-3-5-3F 電話 048-474-0813